

宝木だより

第17号

発行 宝木まちづくり協議会

(宝木地域コミュニティセンター内)

TEL・FAX 028-624-0531

(題字 北條信男氏 書)



地域の皆様に支えられて40年

～未来へ繋ぐ新たな1歩～

宇都宮市立宝木小学校

昭和49年、4月1日に宝木小は誕生しました。記録によれば、「PTAの皆様の献身的なご協力を得て、机・椅子・ピアノから理科室・家庭科室の大型机に至るまで、手作業で搬入作業を行った」とあります。新しい学校の誕生に、誰もが期待を抱き一致団結して取り組んでいたことが分かります。また、その様子が目に浮かんでくるようでもあります。

その日から歴史を積み重ね、今年度、創立40周年を迎えた宝木小学校です。PTAの皆様、そして地域の皆様に支えられながら、大きく成長してきました。

今年度、節目の年を迎え、未来に向かって新たな一歩を踏み出します。

40周年の今、改めて宝木小の原点を見つめる

下の写真は、学校のシンボルとして移植された「メタセコイア」の大樹で、子どもたちの思い出の拠り所として共に育つてきました。

右下の写真は、開校当時の宝木小学校周辺を空撮したものです。

校舎1棟とブールが写っています。学校敷地を囲む道路は整備されているが、これにつながる道路は未舗装のようです。もちろん環状線道路(正しく「宮環」)も整備される前であり、住宅等の建物もほとんど見当たりません。



開校時の築山 奥がアスレチック

宝木小の原点
そしてシンボル
大きなメタセコイア

今年、人工芝の張り替えを行う築山

左上の写真は、開校当時の築山、左下は現在の築山です。

開校当時は、築山にタイヤが埋められ、PTAの皆様が精魂込めて作られた木製アスレチックが隣接して設置されました。その後、築山は人工芝に覆われ、「ムーンロケット4号」と名付けられた2代目のアスレチックが作られました。

現在、安全面の観点からアスレチックは姿を消し、ジャングルジムが設置されています。

しかし、築山は今も健在。宝木小の子どもたちの大切な遊び場として活躍しています。

開校以来、子どもたちをずっと見守り続けてきた築山は、宝木小の歴史の「証人」であり、原点を物語る大切な施設です。

原点を語る「築山」

左上の写真は、開校当時の築山、左下は現在の築山です。

開校当時は、築山にタイヤが埋められ、PTAの皆様が精魂込めて作られた木製アスレチックが隣接して設置されました。その後、築山は人工芝に覆われ、「ムーンロケット4号」と名付けられた2代目のアスレチックが作られました。

現在、安全面の観点からアスレチックは姿を消し、ジャングルジムが設置されています。

しかし、築山は今も健在。宝木小の子どもたちの大切な遊び場として活躍しています。

開校以来、子どもたちをずっと見守り続けてきた築山は、宝木小の歴史の「証人」であり、原点を物語る大切な施設です。

平成26年度の課題

「まちづくりビジョン」つくりに着手

住んでいるまちから
住んで良かつたと思えるまちへ

宝木地区まちづくり協議会会長 大金勇夫

「向こう三軒両隣の心を再生する施策」などを提言してほしいと願っています。

ともあれ「まちづくりビジョン」は、私たち役員のみで創れるもので

宝木地区は、自治会加入の世帯数は4800世帯(39地区中5位)で市内でも大所帯の地区ですが、大規模の工場、商店等もなく、これが比較的平穏で安全な街を形成しているのでは思います。しかしこの陰には自治会をはじめ多くの各種ボランティア団体が自らの課題を見い出しては迅速・適切に施策を講じているからです。

防犯灯の設置管理、防犯パトロール、高齢者への見回りなど地域福祉、市民スポーツの振興、子供の健全育成などの活動団体のまとめ役を担つていて、下段に掲載した各種団体・学校で構成される「宝木地区まちづくり協議会」です。

これら団体は、地域の安心・安全そして、互いに助け・支え合え、心の触れ合うまちづくりをめざし活動をしています。

その集約としてまちづくり協議会は、4月の定期総会で、長年の課題でありました「住みたいまちの夢」を、若い世帯の方々から、日本の良き風習であった

ありません。社会経験の豊かな方、身近な家庭生活を体験している方、将来像に大きな夢をもつ若い人・青少年たちなど多くの方々のご意見を聞きながらじっくり取り組んでいきたいと思っております。

「住んでいるまちから、住んで良かったと思えるまち」づくりに、皆様の夢をお聞かせ下さい。

組織を結集した 地域福祉活動を

社会福祉協議会会長 岩上光宏

4月13日マスコミは、平成24年中に認知症が原因で行方不明になっている人960人、うち死亡で発見された方351人、今なお不明の方208人を報道した。

NHKは、この問題について特集を組み追跡調査を行い、無事に保護されたが身元が分からず、介護施設で生活していた女性を報道したことがきっかけで、7年ぶりに夫と再会できた。しかし、行方不明時会話ができる女性は、7年間という年月に認知症が進行

しこん睡状態となつておらず、もっと早く確認できればと、悔しさを感じさせていたる夫の姿が痛ましく放映された。いま、高齢化時代と言われて久しいが、宝木地区内には一人暮らし529人、老々世帯483世帯もあります。この状況のなかで、認知症患者行方不明事案にみられようなく、潜在化した福祉事案があるのでと危惧しております。

本年度は、これらの福祉に携わるものは、私共社会福祉協議会のほか、自治会、民生委員協議会そして、福祉協力員がおります。

当地区で地域の福祉に携わるものには、私共社会福祉協議会のほか、自治会、民生委員協議会そして、福祉協力員がおります。



各種団体と代表者

団体の名称	代表者
地区自衛会連合会	
地区防災会	大金 勇夫
宝木地区細谷自治会	岩上 光宏
地区民生委員協議会	
地区交通安全推進協議会	田村 保之
宝木町2の2自治会	
駒生団地自治会	
地区こども・育成会	本田 清二
地区体育協会	
宝木町1の2自治会	堀江 功
宝木町1の3自治会	杵渕 広
西中丸自治会	阿部 進
東中丸自治会	大久保恒夫
宝木町2丁目1区自治会	
宝木団地自治会	菊池 弘
西中学校	
宝木中学校	柏崎 純一
宝木中学校PTA	原田 繁男
陽西中学校	小嶋 康正
宝木小学校	伊原 修
宝木小学校	高橋 哲也
西が岡小学校	伊原 弘
西が岡小学校PTA	小笠原 弘
消防城山分団第一〇部	高野 博之
宝木地区防火クラブ	鈴木 幸宏
老人クラブ	伊佐野利明
圓岡 春枝	安納 浅野
こぶしの会	房江 まさ

われらが自治会の自慢

「どんど焼き」風習の継承

宝木2丁目一区自治会



私たちのまちは、健康の森の北側、高速道路東の静かな住宅地域です。ここはその昔群馬県（山崎）から開拓農民が移り住んだと伝えられ、古くは山崎の地名で、現在山崎街道としてその名を残してあります。

我が自治会の自慢は、正月の飾り物を燃やす「どんど焼き」が継承されていることです。

どんど焼きは、その火にあたり、煙を頭や体につけたり、焼いた芋や団子を食べれば、その年は、健康で生活することができるなどの言い伝えもあり、無病息災・五穀豊穣を祈願する行事ともなっています。

これには多くの人手が要り準備が大切です。

近くの農家から竹をいただき燃やす櫛をつき燃やす櫛をつくります。

また、団子や甘さけも作ります。

それ由、自治会役員や育成会などの方々が総出であたり地域の絆を深める行事となっています。

スポーツ少年団

宝木クロバーミニバスケットボール



宝木ミニバスケットボール女子

宝木ミニバスケットボール女子は、春から新しいメンバーが加わり、17名の部員で活動しています。監督コーチの熱い指導の下、全員バスケの精神で男子と共に明るく元気に練習しています。スポーツが得意な子、そうでない子も、一つのボールを追って走り、気持ちのいい汗を流すことは良い友達でもできます。ぜひ見学・体験に体育館にお越しください。

練習日は月・火（細谷小体育館）・木・土・日曜日です

コーチ 和気久枝
代表 大塚桐江



監督 平 正人
コーチ 平 公一

宝木クロバーミニバスケットボールは、一年生から六年生の九名で「あきらめない・走るバスケット」をめざし、日々生懸命そして楽しく練習に励んでいます。勝つ喜び、負ける悔しさ、チームワーク、仲間の大切さなどバスケットを通じて子供たちは自然と学び、身につけてくれます。

練習日は月・火・木・土・日曜日です。是非遊びに来てください。

西が岡剣友会



西が岡バトミントンクラブ

西が岡バトミントンクラブは、健全な心と強い体を鍛えることをモットーにして、楽しく活動しています。特に、シングルスは自分に厳しく、ダブルスはチームワークの大切さを学び、入賞を目指して多くの試合に出場しています。

部員は、13名ですが、男女、学年を問わずに入部しており、和気あいあいと練習に励んでいます。是非見学に来てください。
練習日は土曜日月曜日（祝日）です。

監督 谷口光弘、伊佐勝利
代表 石戸修代



西が岡小に剣道部ができて11年、多くの子どもたちが巣立つていきました。剣道は、地味で怖いというイメージがあるかも知れませんが、子どもたちに、剣道を通して厳しさの中によるしさを求め、心と心の触れ合う仲間つくりができるることを目標としています。

そして練習では、「努力はけして裏切らない」という言葉をかけ合い、子どもたちはこの言葉に励まれ、1本を取ったときの感動を求めて、厳しさの樂しく練習に励んでいます。そんな剣道部です。一緒に樂しく学びませんか。

民生委員・児童委員が変わりました

平成25年12月1日一斉改選

民生委員の活動にご理解とご協力を

民生委員・児童委員は、任期が3年ですので、昨年12月に一斉に改選されました。民生委員には定年制があり、定年を迎えた方や、家庭の事情でやめられた方がいますが、多くの方は再任されております。

本号では、これを機に民生委員について改めて紹介します。

民生委員・児童委員について知っていたとき、活動へのご理解とご協力をお願いします。

○ 民生委員とは

少子化や核家族化によつて地域の繋がりが薄れる中、高齢者や障がいのある方、子育てや介護をしている方などが、周囲に相談できず孤立します。そこで、地域の身近な相談相手として必要な支援を行なうのが「民生委員・児童委員」の存在です。

○ 非常勤の公務員です

民生委員は、民生委員法に



○ 民生委員・児童委員協議会

すべての委員は、宝木地区民生委員・児童委員協議会（会長田村保之）に所属し、定例会（毎月・左写真）などで情報交換や研修を行つています。



新民生委員

印は新任

宝木町1の1
宝木町1の2

吉田 幾男
伊藤 典子

8月23日（土）
9月6日（土）

地区防災訓練
敬老会

宝木町1の3
宝木町2の1

渡辺 博之
憲郎

10月19日（日）
11月9日（日）

第2回市一斉清掃日
宝木まつり

宝木町2の2
佐藤 福重

川口 優之
深津 太志

10月12日（日）
12月7日（日）

10月12日（日）
9月14日（日）

体育祭

宝木町2の2
田村 保之

村田 久雄
田村 保之

10月19日（日）
11月9日（日）

第3回市一斉清掃日
12月7日（日）

編集後記

地域の拠点宝木小学校が創立40周年を迎えました。

これを記念し表紙は、小笠原校長先生にお願いしたものです。多くの関係者に記憶を甦えらせて頂けたと同時に、地域とともににある宝木小

学校の原点を垣間見ることができたのではと思います。すばらしい四季の写真等寄稿ありがとうございました。

本年度の宝木地区の課題として2つのテーマを掲げました。

特に高齢化時代を迎える人暮らしの方々の施策等について実効性のある取り組みを期待したいと思います。

26年度の主な行事

印は新任

7月12日（土）
8月23日（土）

環境点検
市防災訓練

吉田 幾男
伊藤 典子

9月6日（土）
9月14日（日）

地区防災訓練
敬老会

渡辺 博之
憲郎

10月19日（日）
11月9日（日）

第2回市一斉清掃日
宝木まつり

川口 優之
深津 太志

10月12日（日）
12月7日（日）

10月12日（日）
9月14日（日）

佐藤 福重
深津 太志

10月12日（日）
12月7日（日）

10月12日（日）
9月14日（日）

駒生団地
宝木地区細谷
東中丸
宝木団地
阿部 克夫
大門 照夫
阿部 克夫
丸山 次夫
稻葉 淑子
児玉リイ子
瀧澤江津子
清水 操
清水 信子
佐藤 幸子
本田 清二

（お）